

地域包括 かこがわ使い

本年もどうぞよろしくお願ひいたします

加古川民協研修会

10月22日、加古川民生児童委員協議会 高年福祉部より、人生の最期の迎え方を学びたいとのご依頼を受け「**高齢世代のもしもの備え～それぞれの人生会議を考える～**」とのタイトルで、加古川市人権文化センターに行かせて頂きました。「2025年問題」「2035年問題」に備え、**もしバナカード**を用いて、まずは自身の人生会議を検討していきました。



令和3年
新年号
VOL.36



氷丘民協研修会

10月30日、氷丘民生児童委員協議会 高年福祉部より、**新しい民生委員さんに地域包括の周知をして頂きたい**との依頼を受け「**困った時はまず相談！頼りになります 地域包括支援センター**」と題し、研修会に参加させていただきました。私たちを取り巻く環境から、今包括に求められている役割や活動をご紹介します、介護予防・自立支援のほか、医療や介護が必要になった際の備え、**人生の最期の迎え方の備え**が必要であると共有しました。また民生委員さんも含め多職種連携でご支援した事例から「**見守る**」「**支える**」「**つながる**」ことが今後求められてくるのではないかと締めくくらせて頂きました。**地域の要である民生委員さん**に、少しでも包括の役割をご活用頂けたら幸いです。



神戸医療生協 出前講座



10月8日、**神戸医療生協未来支部**より「**地域包括支援センター**」について講師依頼があり、小雨まじりのなか、会場であるじけまち生協会館へ出前講座に行かせて頂きました。こちらは、**早朝のゴミ出しや墓参りなど介護保険制度では対応できないニーズにお応え**して頂ける助け合い活動の担い手さんです。地域包括支援センターの基本的な役割をお伝えしたうえで、**互いに協働できること**を模索していきました。多様な課題をお持ちのかたが益々増えていきますので、今後もより良い連携に努めていきたいと思ひます。

加古川町内介護支援専門員事例検討会

10月23日、「**地域で暮らしていくのが困難な共依存している母娘について**」と題して事例検討会を開催し、**12名のケアマネジャー**が集まりました。認知症の進行により、夜中に大声でのけんかが絶えず、警察に通報されることもあったケースで、参加者からは認知症であることをご近所に知って頂いた上で見守ってもらうことはどうかという意見がでました。また施設の申し込みをしても母と離れる選択ができず、精神的にも負担がかかっているため、介護者が自身の楽しみをみつけることや、ゆとりをもてるような支援をその都度提案していったらどうかとの意見もあり、**介護者への支援や、周りの理解や協力を受け入れること**の必要性を共有しました。



介護ほっとカフェ リフレッシュバス旅行

恒例のリフレッシュバス旅行に行ってきました。今回の行き先は福祉のまちづくり研究所と道の駅みき。福祉のまちづくり研究所では、なじみのものから最新のものまでたくさんの福祉用具や介護ロボットが展示されていました。「少しでも介護が楽になるように」と次々新しいものが開発されており、参加者一同、技術の進歩に感動しました。そ

の後は道の駅みきに移動してフリータイム♪ ご飯を食べたり、

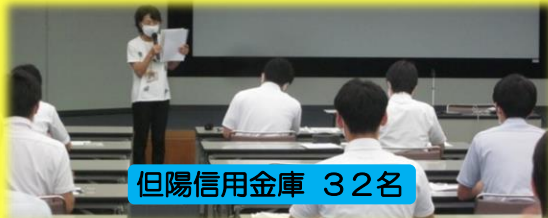
おみやげものを買ったりと楽しんでいただきました。コロナ禍において、バス旅行を開催するかどうか、最後の最後まで悩みました。それでも見学を受け入れてくださったみなさま、参加者のみなさまから暖かい声をちょうだいし、前向きに実施して良かったと振り返っています。今後もみなさまにとって良い機会となるように努めてまいります。



認知症サポーター養成講座

コロナ対策にご協力頂き、同時期に合計6回の認知症サポーター養成講座を開催することができました。

1 但陽信用金庫さんは新人職員さん向けに、毎年5月頃に受講頂いていますが、今年は9月15日に感染対策をしっかりとされた上で、開催できました。例年であれば、ATM前での寸劇を通して認知症の方への好ましい対応の仕方を考えて頂いていましたが、今年は、グループワークができず、講話とDVDで事例の対応方法を学んで頂きました。物足りない内容になってしまったかと心配していましたが、取り越し苦労だったようで、若いみなさまから嬉しい感想をたくさん発表して頂いて、とても励みになりました。



但陽信用金庫 32名

2 9月16日と23日、第一生命保険さん61名の方に向けて講座を開催しました。感染症対策として、両日の午前と午後、計4回に分かれて受講して頂きました。講師役のキャラバンメイトも多数ご参加くださり、4回を無事に終えることができました。セールスレディさんからは「認知症だけでなく、高齢者の身体状況も心配だった」「家族が手伝えない背景もあるのかな」などと他の会場では頂いたことのないご意見もあがり、視野が広がりました。



第一生命保険 61名

3 10月20日、嶋里小学校の5年生、5クラスに向けて開催しました。毎年恒例で開催させて頂いており、今回で7回目となります。例年なら体育館で全クラス集まって講義や寸劇をしていましたが、今年度は感染症対策として、各クラスで講義、少人数で考える時間をもって頂きました。みなさま熱心に考えて積極的に意見発表され、認知症に高い関心を向けて頂いているようで感激しました。「やさしく話をする」「さみしい思いはさせたくない」「困っている事はないか声をかけてみる」など思いやりのあるご意見をたくさんお聞きできました。参加したキャラバンメイトもそれぞれ新たな発見があったようで、充実した時間となりました。



嶋里小学校 187名

加古川町内介護支援専門員研修会

9月25日、加古川町内介護支援専門員研修会を開催しました。今回は10月にオープンした加古川市成年後見支援センターについて、同センターの職員5名にお越しいただき、相談・支援の流れについてお話をうかがいました。「身寄りがないので不安」「自分でお金の管理ができない」などの困りごとを抱える高齢者の方が増えていくのではないかと予測される中、成年後見制度について事例を交えながら説明して頂きました。出席頂いた24名のケ

アマネジャーからは「成年後見制度についての基本が学べ、今後の支援に活用できる」「ひとり暮らしや身寄りのない方など、後見人制度を利用し、より良い生活を目指せると思うと心強い」などの意見がでました。身近に利用しやすい、相談しやすい窓口ができ、成年後見制度へのハードルが低くなったように感じました。

